

6月18日 らんじよ浮世亭だより

六月十八日のらんじよ浮世亭では、最初のゲームとして、輪投げゲーム羽根っ子ゲームを全員でやり、それぞれのゲームの得点の上位三人に、豪華賞品を進呈致しました。

また、午後からは古典に親しむと題して、「百人一首」の勉強会を行い、第一日目は一番から九番迄を履修致しました。



エイッ、入れ!!

輪投げ

・羽根っ子ゲームに興じる

次回は7月16日(木曜日)
講話「頼成の妙好人」講師は太田浩史さん。
10時より開亭とします。良いお話ですので、揃ってお集まり下さい。



熱心に耳を傾ける皆さん



らんじよ浮世亭での古典勉強会

第30回 らんじよ 頼成の森 花しょうぶ祭り

第30回を迎えた、今年の頼成の森「花しょうぶ祭り」も6/28にその幕を閉じ、600品種70万株が見事に咲き揃い、地元及び県内外から訪れた大勢の観光客を楽しませました。今年は、例年より開催期間を延長したため、昨年より約20,000人多い73,000人が訪れたと云う。これを契機に、私達も地元人間としてより多くの人達が訪れるように、このシーズンには一層の協力をしたいものである。



今年も六月十六日に、待望の「鮎」が解禁されたが、その日の釣果は例年に無い位にサツパリしなかった。と云うのも、春先に富山湾に鯛の大群が押し寄せ、河口でたむろしていた稚鮎を食ってしまった、遡上しなかったため天然物がいないのと、解禁までに水高が増えず、したがって、水ア力のつきも良くなく、放流はしているものの、鮎の姿が見えない状況だと云う。例年だと毎日太公望が沢山庄川に入っているのが見受けられるが、今年は解禁日以降は未だに殆ど見受けられない。今後の水量と放流を待つしか無いのだろうか。

